

## 朗読劇で考える古里・夕張

来月札幌で 参加者を募集

9/14  
道新

夕張をテーマにした市民参加型の朗読劇とシンポジウムが十月、札幌で開催される。夕張ゆかりの演劇プロデューサー武藤琴美さん（㊟）「東京在住」が「財政破たんした夕張を通して、観客や出演者それぞれが古里を考えるきっかけになれば」と企画した。

武藤さんは札幌出身だが、祖父が夕張で炭鉱マンだったことから、幼少期に父親と何度も訪問した夕張を身近に感じていた。現在、インターネットで夕張の情報を交換する場も設けている。

長く演劇に携わった経験から、「舞台で、時代に翻弄された夕張を描きたい」と朗読劇「あなたの知らなかった夕張」を企画した。炭鉱事故を描いた物語で、東京のプロの役者と共に一般公募した市民が出演する。

シンポジウムには、地域コミュニティづくりに取り組む道内のNPO関係者らが出席。夕張の地域コミュニティを検証しながら、まちづくりについて考える。

朗読劇はプレビュー公演が十月四日午後二時（前売りのみ八百円）、本公演が同午後六時、五日午後二時と六時（前売り二千円、当日二千五百円）。シンポジウムは五日の夜公演終了後で無料。会場はいずれも西区の劇場コンカリーニョ（JR琴似駅直結）。

朗読劇の参加者向けの説明会を九月十五日午後二時から、地下鉄東西線琴似駅構内の「ターミナルプラザ」ことにパトスで開く。小学生以上で参加費は千円。問い合わせはコンカリーニョ ☎011・615・4859へ。